



7/19(火)取引スタート！
東証マザーズ指数先物取引のご紹介
-東証マザーズ指数先物取引概要-

2016年6月
大阪取引所

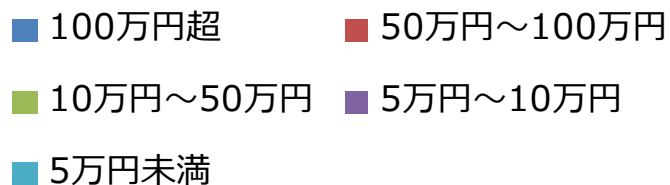
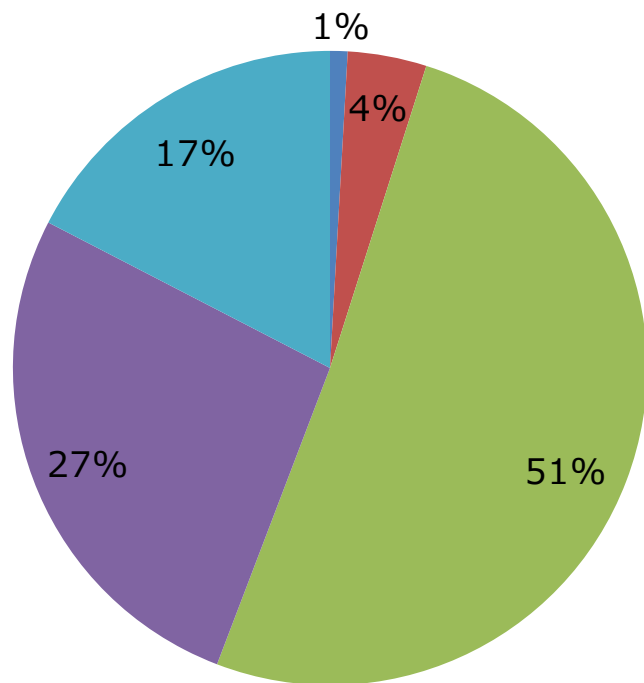
東証マザーズ指数先物の取引制度概要

	東証マザーズ指数先物	日経225mini	JPX日経400先物	ミニTOPIX先物	
取引対象	東証マザーズ指数	日経平均株価	JPX日経400	TOPIX	
取引単位	指数×1,000	指数×100	指数×100	指数×1,000	
想定元本	113万240円 (※1)	165万8,003円 (※1)	120万562円 (※1)	133万2,430円 (※1)	
証拠金	89,500円 (※1)	75,000円 (※2)	53,000円 (※2)	58,500円 (※2)	
レバレッジ	12.6倍	22.1倍	22.7倍	22.8倍	
限月取引	(四半期限月) ・5限月取引	(四半期限月) ・6月・12月の10限月 ・3月・9月の3限月 (シリアル限月) ・直近3限月	(四半期限月) ・5限月取引	(四半期限月) ・3限月取引	
立会取引	取引時間	(2016/7/19以降) 8:45~15:15、16:30~翌5:30			
	呼値の刻み	0.5pt.(=500円)	5円(=500円)	5.0pts.(=500円)	0.25pt.(=250円)
	制限値幅	通常値幅：8%、1次拡大後：12%、2次拡大後：16%			
取引最終日	各限月の第2金曜日の前営業日(休業日に当たるときは繰上げ)				
最終決済	SQによる差金決済				

(※1) 各指数値等の情報より6/6時点の数値を試算、(※2) 証拠金額は6/3基準 (適用期間：6/6~10)

個別銘柄に比べ少ない資金で取引可能

- マザーズ市場の個別銘柄の約6割は10万円以上の資金が必要、マザーズ先物であれば数万円の証拠金で取引が可能。



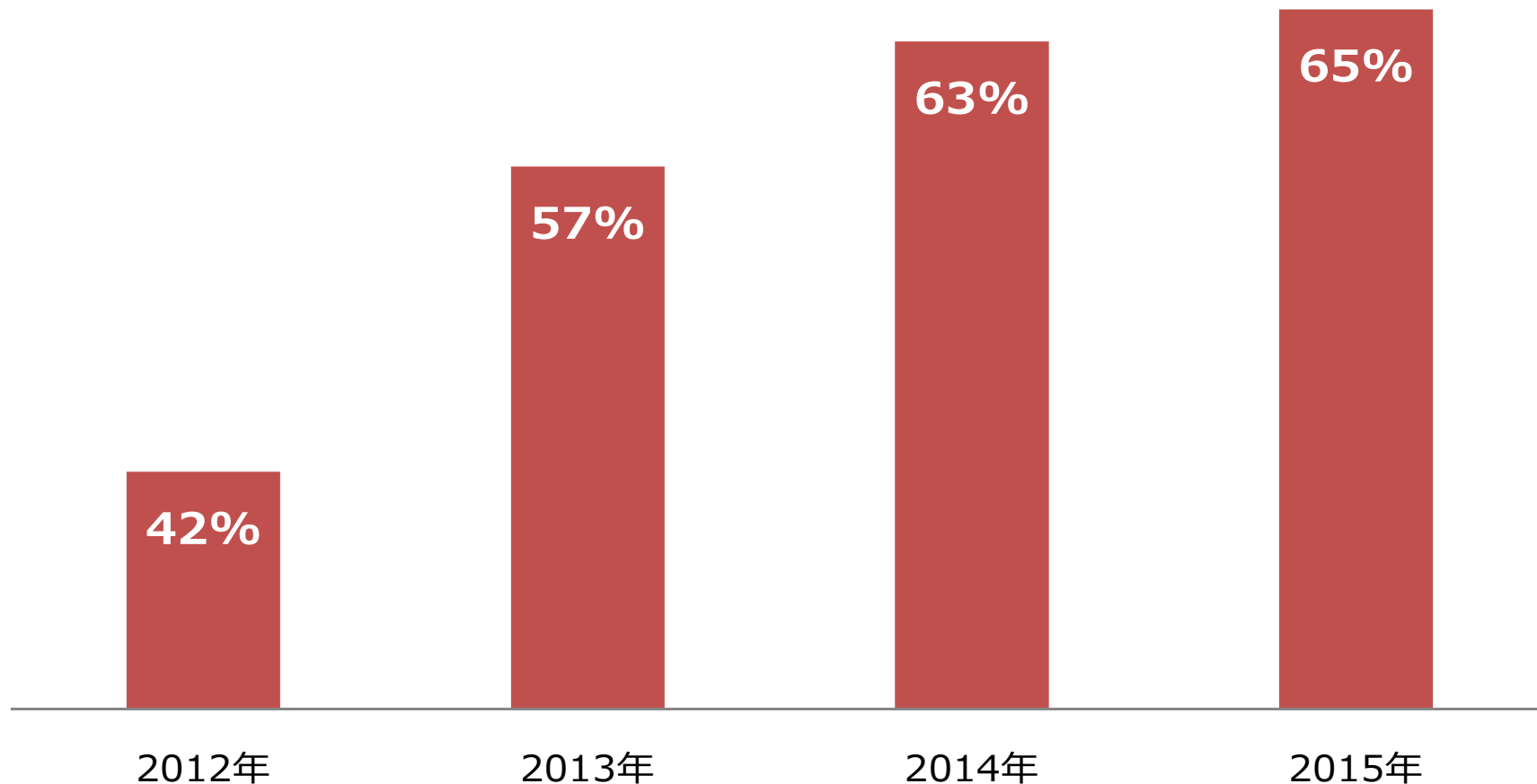
コード	銘柄名	最低購入代金 (円)
4565	そーせいグループ	1,569,000
3936	グローバルウェイ	1,250,000
3915	テラスカイ	783,000
1435	インベスターズクラウド	770,000
6030	アドベンチャー	679,000
6094	フリークアウト	626,000
3926	オープンドア	622,000
3914	JIG-SAW	593,000
3907	シリコンスタジオ	570,000
6191	エボラブルアジア	560,000

(出所) Bloombergの情報を基に作成、データは6月22日時点

個人投資家の信用比率が高いマザーズ市場

- 年々、信用取引でマザーズ銘柄を売買する投資家が増加。
- より低コストで高レバレッジな先物取引の取引ニーズが期待される。

個人投資家におけるマザーズ銘柄の信用比率



(出所) 東京証券取引所 投資部門別売買状況の情報を基に作成

個別銘柄に比べ少ないコストで取引可能

- マザーズ市場の個別銘柄の売買に比べ、マザーズ先物取引は売買の自由度が高く、しかも、金利等のコストは発生しない。

○売買代金上位20銘柄（6月22日時点）

コード	銘柄名	売買代金（千円）	信用区分
4565	ソーせいグループ	32,028,960	制度信用銘柄
6176	ブランジスタ	23,424,230	制度信用銘柄
3664	モブキャスト	8,510,129	貸借銘柄
4594	グリーンペプタイド	5,277,279	制度信用銘柄
3907	シリコンスタジオ	4,753,865	制度信用銘柄
7779	CYBERDYNE	3,416,791	制度信用銘柄
3698	CRI・ミドルウェア	2,831,395	制度信用銘柄
2121	ミクシィ	2,762,344	貸借銘柄
6094	フリークアウト	2,670,246	制度信用銘柄
4824	メディアシーク	2,353,685	制度信用銘柄
3653	モルフォ	2,346,701	制度信用銘柄
3914	JIG-SAW	1,938,903	制度信用銘柄
3134	Hamee	1,891,133	制度信用銘柄
3932	アカツキ	1,870,463	制度信用銘柄
4592	サンバイオ	1,730,213	制度信用銘柄
4563	アンジェス MG	1,587,765	制度信用銘柄
4571	ナノキャリア	1,548,625	制度信用銘柄
3652	デジタルメディアプロフェッショナル	1,458,986	制度信用銘柄
3665	エニグモ	1,322,192	貸借銘柄
6191	エボラブルアジア	1,189,317	制度信用銘柄

制度信用銘柄
|| 制度信用取引による売り不可

（出所）JPX Webページ及びBloombergの情報を基に作成

東証マザーズ指数から算出した損益試算値

【毎日、引け成行の値段で売買した場合の損益】

日付	指数値 (pt)	前日比 (pt)	損益試算値 (円) ※
2016/6/1	1127.92	-	-
2016/6/2	1108.47	-19.45	-19,450
2016/6/3	1137.99	29.52	29,520
2016/6/6	1130.24	-7.75	-7,750
2016/6/7	1141.61	11.37	11,370
2016/6/8	1156.48	14.87	14,870
2016/6/9	1163.16	6.68	6,680
2016/6/10	1165.55	2.39	2,390
2016/6/13	1115.04	-50.51	-50,510
2016/6/14	999.91	-115.13	-115,130
2016/6/15	1033.22	33.31	33,310
2016/6/16	959.56	-73.66	-73,660
2016/6/17	950.33	-9.23	-9,230
2016/6/20	982.4	32.07	32,070
2016/6/21	994.18	11.78	11,780
2016/6/22	967.25	-26.93	-26,930

(※)試算値については指数値×1,000 (取引単位) で算出した参考値ですのでご注意ください。

(出所) Bloombergの情報を基に作成

指数先物取引等の取引時間が延長されます

- 投資家の皆様のニーズに応えるとともに、当社市場の取引機会・価格発見機能をさらに拡大・強化する観点から、**取引時間を延長**します。
 - 指数先物取引に係る日中立会開始時刻を**午前8時45分**に前倒し。
 - ナイト・セッションの取引終了時刻を**午前5時30分**まで延長。
 - 日経平均VI先物取引において、午後7時までの**ナイト・セッション**を導入。

凡例：赤塗部分が延長対象時間帯

日本時間	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	~	22	~	2	3	4	5
現物株売買																		
指数先物																		
日経平均VI先物																		
指数オプション																		
NY時間 (夏)	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	9	10	13	14	15	16
現物株売買																		

<問合せ先>

株式会社大阪取引所 デリバティブ市場営業部

06-4706-0800（代表） E-mail :mkt-dept@jpx.co.jp

【本資料に関する注意事項】

免責事項：本資料に関する著作権は、株式会社大阪取引所にあります。本資料の一部又は全部を無断で転用、複製することはできません。本資料は、当社の先物・オプション取引に関する制度の概要説明のみを目的として提供されるもので、先物・オプション取引の勧誘を目的としたものではありません。先物・オプション取引においては、株式相場、為替相場の変動等によって損失が生じるおそれがあり、差し入れた証拠金の全部若しくは一部を失う、又は、差し入れた証拠金を超える損失を被ることがあります。また、相場変動等により証拠金額に不足が生じた場合には、追加の差し入れが必要となります。お取引に際しては、あらかじめお取引先の金融商品取引業者等より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で取引を行っていただきますよう、お願い申し上げます。また、本資料に含まれる記述などの使用に関し、当社は一切責任を負いません。当社は本資料に記載の事項に関し、将来予告なしに変更することがあります。

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありませんのでご了解ください。

お客様よりご提示いただきました情報以外で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではありません。尚、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

金融商品取引法にかかるリスクと費用等のご説明

【株価指数先物取引にかかるリスク】

株価指数先物・オプションの価格は、対象とする株価指数の変動等により上下しますので、これにより損失が生じるおそれがあります。また、株価指数先物取引は、少額の証拠金で当該証拠金の額を上回る額の取引をおこなうことができ、大きな損失が発生する可能性があります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。株価指数オプション取引はオプションを行使できる期間には制限があります。また、株価指数オプションの市場価格は、現実の株価指数の変動等に連動するとは限りません。価格の変動率は現実の株価指数の変動率に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失が発生する可能性があります。

【株価指数オプション取引における買方特有のリスク】

株価指数オプションは期限商品であり、買方が期日までに権利行使または転売をおこなわない場合には権利は消滅し、買方は投資資金の全額を失うこととなります。

【株価指数オプション取引における売方特有のリスク】

売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、売方は、株価指数オプション取引が成立したときは、証拠金を差し入れまたは預託しなければなりません。その後、相場の変動により証拠金の額に不足額が発生した場合には、証拠金の追加差入れまたは追加預託が必要となります。所定の時限までに不足額を差し入れない場合等には、建玉の一部または全部を決済・処分させていただく場合もあります。この場合、その決済で生じた実現損失について責任を負う必要があります。売方は、権利行使の割当てを受けた際には必ずこれに応じる義務があり、権利行使価格と最終清算指数(SQ値)の差額を支払う必要があります。

金融商品取引法にかかるリスクと費用等のご説明

【株価指数先物取引にかかる費用】

株価指数先物取引の委託手数料は、278円(税込:300.24円)/1枚がかかります。日経225ミニ取引の委託手数料は、38円(税込:41.04円)/1枚がかかります。

【株価指数オプション取引にかかる費用】

株価指数オプション取引委託手数料:売買代金の売買代金の0.18%(税込:0.1944%)※ただし最低手数料:180円(税込:194.4円)がかかります。

【委託証拠金等について】

株価指数先物・オプション取引をおこなうには、委託証拠金の差し入れが必要です。必要委託証拠金はSPAN(シカゴマーカントイル取引所が開発した証拠金計算方法)によって計算され、「(SPAN証拠金額×当社が定める証拠金掛目)-ネット・オプション価値総額+先物両建て証拠金」となります。※先物両建て証拠金=(建玉枚数-ネットデルタの絶対値)×0.5×日経225先物取引1枚あたりのSPAN証拠金×当社が定める証拠金掛目※日経225ミニ取引は、日経225先物取引の1/10の証拠金でお取引が可能です。

・商号等: 楽天証券株式会社

・金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号、商品先物取引業者

・加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会